

現代日本学演習 IV 「調査的面接の基礎」

第3講 対象者の選びかた

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 対象者の選定

1 今回の課題

この授業のレポートを作成するための面接調査について、どのような対象者を、どのようにして、何人集めればよいか考える。実際のスケジュールや、自分がどの程度の労力を割けるかを考慮して、具体的に考えること。

2 対象者の選定

「無作為抽出」(random sampling)..... 対象となる「母集団」(population) のなかのすべての個体と同じ確率で選ばれる。面接などの質的 (qualitative) 調査では無作為抽出はあまり使わないが、基準として意識しておく必要はある。

実際には.....次の条件を考慮して、対象者を決める：

- 調査可能な人数 (時間と労力の制約)
- 集めることのできる集団あるいはネットワーク
- 分析の鍵となる属性など (いくつかのグループに分けて、それぞれ複数の対象者を確保)